

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月14日

上場会社名 藤森工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7917 URL <http://www.zacros.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤森 明彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理部長

(氏名) 吉野 彰志郎

TEL 03-3661-4211

四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	19,638	—	479	—	503	—	169	—
20年3月期第1四半期	18,460	4.3	117	△66.9	142	△62.9	91	△57.1

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	9.81	—	—	—
20年3月期第1四半期	5.26	—	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第1四半期	75,828	28,941	28,941	28,941	37.5	1,642.97	1,643.15	
20年3月期	77,438	28,983	28,983	28,983	36.7	1,643.15	1,643.15	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 28,421百万円 20年3月期 28,424百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
第2四半期連結累計期間	40,255	—	815	—	745	—	410	—	23.70	23.70
通期	84,650	3.6	2,570	307.6	2,370	241.8	1,300	338.2	75.15	75.15

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名)

除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 17,312,760株 20年3月期 17,312,760株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 13,791株 20年3月期 13,791株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 17,298,969株 20年3月期第1四半期 17,298,969株

1. 上記の予想は、本資料の発表日段階において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の2ページをご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における国内経済は、原油を始めとする原材料価格の高騰と欧米での金融不安に伴う景気減速等の影響により企業業績が下降局面に転じる一方、個人消費や設備投資も力強さを欠くなど、景気の減速感が強まる展開となりました。

市場環境では、機能材料関連はフラットパネルディスプレイ等の市場は拡大するも価格競争が激化しており、また包装・容器関連市場では消費の弱含み傾向等から製品への価格転嫁が容易でない状況で推移しました。

このような環境の下、当社グループの化成品事業では、機能材料部門のLCD（液晶ディスプレイ）用マスキングフィルム及び包装部門の詰替用スタンディングパウチ等の受注拡大により、売上高は前年同期を上回る実績となりました。

損益面では、機能材料部門において昨年新設した当社昭和事業所の生産効率向上と売上高増加を達成したこと、包装部門では高付加価値製品の販売を強化したこと、更に販売費及び一般管理費等のコスト削減に努めたこと等から、前年同期比で増益となりました。また、当第1四半期には、たな卸資産評価損1億53百万円を特別損失に計上しました。

その結果、当第1四半期における業績は、売上高196億38百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益4億79百万円（前年同期比309.6%増）、経常利益5億3百万円（前年同期比254.2%増）、四半期純利益1億69百万円（前年同期比86.4%増）となりました。

事業の種類別セグメントの状況は次のとおりであります。

#### （化成品事業）

機能材料部門においては、情報記録用材の売上は前年同期比で微減となりましたが、新設の当社昭和事業所の増産設備が稼働したLCD（液晶ディスプレイ）用マスキングフィルムは堅調な需要を背景に大きく売上を伸ばしました。

また、容器部門・産業資材部門・機械部門では売上高は減少したものの、包装部門では部門を通じて高付加価値製品の販売強化を推進しつつ詰替用スタンディングパウチ等を中心に受注を拡大した結果、化成品事業の売上高は172億42百万円となりました。

#### （建築資材他の事業）

建築資材他の事業では、ビル用煙突の販売が前年同期比で微増となったものの、集合住宅向け製品並びに土木関連の商品及び製品が振るわず、売上高は23億95百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、投資有価証券等の増加があったものの、受取手形及び売掛金、有形固定資産等の減少により、前連結会計年度末に対して16億10百万円減少の758億28百万円となりました。

負債につきましては、短期借入金が増加したことを中心に、前連結会計年度末に対して15億68百万円減少の468億86百万円となりました。

純資産は少数株主持分5億20百万円を含めて289億41百万円となり、自己資本比率は37.5%となりました。

#### （キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、期首残高に比べて1億29百万円減少し、16億21百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な増減要因は次の通りです。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、たな卸資産の増加、仕入債務の減少などの資金減少要因があったものの、売上債権の減少19億23百万円、当社昭和事業所を中心に減価償却費13億89百万円があったこと等から、24億75百万円の収入となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、機械装置等の投資を中心に有形固定資産を取得したことから6億41百万円の支出となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は借入金の減少等により18億66百万円の支出となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績の予想につきましては、原材料価格の更なる上昇やIT関連の在庫・生産調整など厳しい市場環境が続くことが懸念されますが、当社グループでは全部門での高付加価値製品の販売強化・コスト削減等、業績の向上に引き続き取り組んでまいります。

現時点においては、平成20年5月16日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更あり

ません。

#### 4. その他

##### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

##### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

###### 1. 簡便な会計処理

採用した簡便な会計処理のうち、重要なものはありません。

###### 2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

##### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

###### 1. 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

###### 2. たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、営業利益及び経常利益は15百万円増加、税金等調整前四半期純利益は137百万円減少しております。

#### (追加情報)

当社及び国内連結子会社の機械装置の耐用年数については、当第1四半期連結会計期間より、法人税法の改正を契機として耐用年数の見直しを行い、改正後の耐用年数に基づき減価償却費を算定しております。このことが売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に及ぼす金額的影響は、それぞれ軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,811	1,940
受取手形及び売掛金	24,407	26,065
商品及び製品	3,820	3,323
仕掛品	3,544	3,411
原材料及び貯蔵品	1,781	1,687
繰延税金資産	609	432
その他	1,434	1,565
貸倒引当金	△26	△27
流動資産合計	37,384	38,399
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,558	25,491
減価償却累計額	△11,049	△10,762
建物及び構築物(純額)	14,508	14,729
機械装置及び運搬具	36,988	36,809
減価償却累計額	△24,383	△23,574
機械装置及び運搬具(純額)	12,605	13,235
工具、器具及び備品	3,734	3,701
減価償却累計額	△3,047	△2,971
工具、器具及び備品(純額)	686	729
土地	4,920	4,946
建設仮勘定	527	578
有形固定資産合計	33,248	34,219
無形固定資産		
その他	620	680
無形固定資産合計	620	680
投資その他の資産		
投資有価証券	3,336	2,932
繰延税金資産	516	530
その他	1,085	1,033
貸倒引当金	△363	△355
投資その他の資産合計	4,575	4,139
固定資産合計	38,444	39,039
資産合計	75,828	77,438

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,473	19,152
短期借入金	3,097	4,758
1年内償還予定の社債	200	200
未払金	2,428	1,931
未払法人税等	384	275
賞与引当金	416	816
役員賞与引当金	9	34
その他	2,590	2,089
流動負債合計	27,602	29,258
固定負債		
長期借入金	14,131	14,156
繰延税金負債	916	778
退職給付引当金	3,435	3,454
役員退職慰労引当金	367	359
その他	433	446
固定負債合計	19,284	19,196
負債合計	46,886	48,455
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,723	4,723
資本剰余金	5,778	5,778
利益剰余金	16,845	16,849
自己株式	△10	△10
株主資本合計	27,337	27,340
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,032	797
為替換算調整勘定	51	287
評価・換算差額等合計	1,084	1,084
少数株主持分	520	558
純資産合計	28,941	28,983
負債純資産合計	75,828	77,438

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	19,638
売上原価	16,682
売上総利益	2,955
販売費及び一般管理費	2,476
営業利益	479
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	32
受取賃貸料	44
その他	77
営業外収益合計	155
営業外費用	
支払利息	73
貸与資産減価償却費	21
その他	34
営業外費用合計	130
経常利益	503
特別利益	
固定資産売却益	1
特別利益合計	1
特別損失	
固定資産売却損	3
固定資産除却損	0
たな卸資産評価損	153
特別損失合計	157
税金等調整前四半期純利益	347
法人税、住民税及び事業税	355
法人税等調整額	△186
法人税等合計	169
少数株主利益	8
四半期純利益	169

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	347
減価償却費	1,389
受取利息及び受取配当金	△33
支払利息	73
為替差損益 (△は益)	△1
有形固定資産除売却損益 (△は益)	2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△19
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	371
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△24
売上債権の増減額 (△は増加)	1,923
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△755
仕入債務の増減額 (△は減少)	△630
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	107
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△0
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△13
小計	2,752
利息及び配当金の受取額	33
利息の支払額	△83
法人税等の支払額	△226
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,475
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△638
有形固定資産の売却による収入	74
無形固定資産の取得による支出	△1
投資有価証券の取得による支出	△6
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△17
長期貸付けによる支出	△60
長期貸付金の回収による収入	30
その他	△21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△641
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,300
長期借入金の返済による支出	△386
配当金の支払額	△172
少数株主への配当金の支払額	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,866
現金及び現金同等物に係る換算差額	△96
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△129
現金及び現金同等物の期首残高	1,750
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,621

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	化成品 (百万円)	建築資材他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	17,242	2,395	19,638	—	19,638
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	76	7	84	△84	—
計	17,319	2,402	19,722	△84	19,638
営業利益	476	3	480	0	479

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法は、製品の市場における用途に応じて、化成品と建築資材他にセグメンテーションしております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
化成品	LCD用マスキングフィルム、粘着・保護フィルム、層間絶縁フィルム、電子回路用材、剥離紙、剥離フィルム、食品・医薬品等包装材、医療機器包装材、プラスチック製折畳液体容器、プラスチッククロスシート、フレキシブルコンテナ
建築資材他	コンクリート型枠材、スラブ材、各種型枠筒、トンネル用防水シート、トンネル掘削工事関連資材、気密性ドア、煙突ライニング材、表面保護材

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	18,460
II 売上原価	15,698
売上総利益	2,761
III 販売費及び一般管理費	2,644
営業利益	117
IV 営業外収益	142
V 営業外費用	117
経常利益	142
VI 特別利益	30
VII 特別損失	0
税金等調整前四半期純利益	172
税金費用	76
少数株主利益	4
四半期純利益	91

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	172
減価償却費	1,121
売上債権の増減額(増加:△)	△734
たな卸資産の増減額(増加:△)	△1,354
法人税等の支払額	△332
その他の増減額(減少:△)	1,241
営業活動によるキャッシュ・フロー	113
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2,812
その他の収支(支出:△)	131
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,680
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(減少:△)	△900
長期借入れによる収入	4,500
長期借入金の返済による支出	△1,704
その他の収支(支出:△)	△176
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,719
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	38
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△808
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,392
VII 現金及び現金同等物の期末残高	3,583